

広報

# こおり

3

Mar. 2020  
vol. 603



献上桃の郷。  
桑折町  
こおりまち





参加者約260人がヨガや講演を通して、楽しく健康について学びました

### 滝口 義光さん

**profile** 医療法人桜樹会八子医院 YAGO メディカルフィットネスクラブマネージャー。健康運動指導士として「こおり運動教室」の指導者も務める（写真右）

### 尾上 阿希子さん

**profile** (株)タニタヘルスリンクで管理栄養士として、食事・運動のカウンセリングやセミナー講師を担当

健康運動指導士の滝口さんは、筋肉をつけながら脂肪を燃やす運動を紹介。「有酸素運動も、筋力トレーニングも、場所を選ばずにできる。今すぐに取り組むことから始めることが大切」と呼びかけました。

(株)タニタヘルスリンク管理栄養士の尾上さんは「ビール1缶のカロリーは、約100分間のウォーキングに相当する」と、カロリー消費のために必要となる具体的な運動量を解説。「生活習慣病予防のキーワードは、内臓脂肪を減らすこと」と、食事と運動の両輪で健康増進させる方法を紹介しました。



### こおり健康楽会に向けて 問題意識を共有

設立の前に、まずは、自分たちの健康状態を知ってもらい、問題意識を共有するため、2月

### 福島県の健康状態 今こそ待ったをかける時

都道府県別の健康寿命ランキング（2015年）を見ると、福島県は「男性42位、女性44位」と、不健康で短命であることが分かります。また、他県と比較して、メタボリックシンドローム者が多く、急性心筋梗塞で亡くなる人の数は、全国でワースト一位。こうしたことから、福島県の健康寿命の低さの背景には、生活習慣病が関係していると考えられています。

### 健康増進を目指して 3つの視点で考える

福島県立医科大学教授の大平さんは「声を出して笑うことは長生きにつながる」と、参加者と「笑いヨガ」を実践。「笑い」と軽い運動を組み合わせることで、身体機能が維持でき、結果的にあらゆる病気の予防となる。笑いは伝染し、全体の健康度を上げる」と話しました。



### 大平 哲也さん

**profile** 福島県立医科大学医学部疫学講座主任教授、日本笑い学会理事、NHK総合テレビなど多数メディアに出演し、笑いと健康のデータを提示している

## INTERVIEW

意識することで効果を実感！  
さまざまな健康法を試したい



**古山 成子さん**  
「こおり運動教室」に参加

年齢とともに血圧が気になりはじめ、今年から「こおり運動教室」に参加しています。週1回の教室ですが、みるみる体重が落ち、血圧の数値も良くなりました。意識すれば、きちんと効果が出るのだと身をもって実感し、今回の講演会にも興味をもちました。運動とは違う切り口から、健康を考えるきっかけになり、とても充実した内容でした。

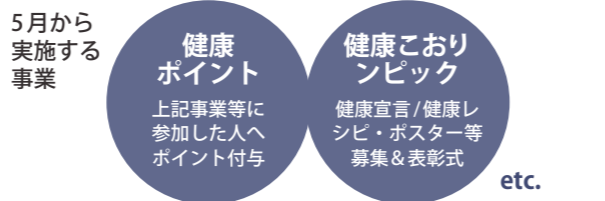
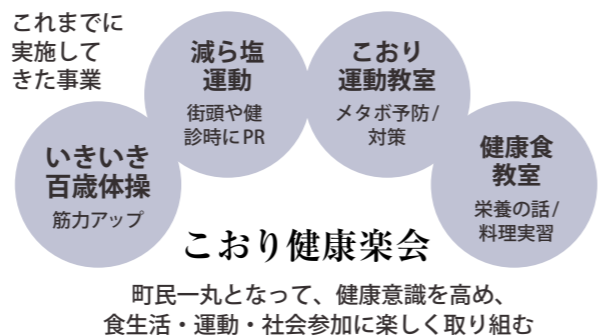
これなら楽しく続けられる！  
健康の大切さを再確認



**佐藤 正美さん**  
桑折地区住民自治協議会事務局長

「来年度の自治協議会で何か健康をテーマに取り組んでみようかな」と考えていた矢先、この講演会のことを知りました。どの講師の方も、無理なくできる健康法を紹介し、これならみんなで楽しく出来そうだなと感じました。私自身、先日急に入院してしまったこともあり、「大丈夫」と過信せず、日ごろから健康に気を使おうと再認識しました。

### 健康事業の内容がさらに充実！ 「こおり健康楽会」を設立



### 目標

- 町のあらゆる所で健康環境が目に入ることで、町全体の健康意識が高まる。
- 健康意識の醸成により、健康状態が改善され、寿命延伸・医療費抑制につながる。

## HEALTH - FEATURE

# 「笑い・運動・食」で健康に

今年5月、町全体で健康を楽しく学ぶ「こおり健康楽会」を設立します。その先駆けとして、まずは、自分たちの健康実態を知り、「笑い・運動・食」の3つの視点から、体に対する影響について学びました。



**佐藤 久仁夫さん**  
こおり健康楽会世話人

「こおり健康楽会」とは、町内の団体や企業、飲食店、そして、町民の皆さんが一丸となって、健康について取り組んでいく組織です。医師や薬剤師、栄養士などの専門家の方々にもサポートいただきながら、健康増進のためのさまざまな事業を展開していきます。例えば、オリンピックイヤーにちなんで、「健康こおりンピック」と題し、各団体で取り組む健康宣言や健康ポスターコンテストなどの楽しい企画を予定しています。詳しくは、随時「健康楽会だより」でお知らせしていきます。県内一、日本一の健康なまちを目指して、共に楽しみましょう。



## 新型コロナウイルス感染症対策

# 国内での感染が増加 町の予防対策は――

国内で新型コロナウイルス感染症の不安が急速に広まっていることから、町は2月25日に対策本部を設置し、予防対策を図っています。

中華人民共和国湖北省武漢市

で、新型コロナウイルス関連感染症（肺炎）が発生し、国内でも複数地域で感染が報告されています。現時点では、まだ大規模な感染拡大は認められていませんが、まさに今が、今後の国内での健康被害を最小限に抑える上で、極めて重要な時期となります。感染の流行を早期に終息させるため、正しい情報に従い、一人一人が予防対策にしっかりと取り組んでいきましょう。

町の健康づくりアドバイザーである、東京慈恵会医科大学の浦島充佳先生は「手洗い・うがい・マスクの着用など、普通の感染症と

同様の予防法で良い。一番大切なのは、「こまめな換気」と呼びかけています。

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って、適切な湿度（50～60%）を保ちましょう。また、こまめに水分をとることで、のどが潤い、感染予防につながります。

また、マスクは、咳やくしゃみによる病原体の飛沫や飛散を防ぐ効果が高いとされています。これらの症状のある人は、積極的にマスクをつけましょう。

一方で、マスクの予防性については注意が必要です。混み合った

浦島 充佳さん

profile 東京慈恵会医科大学教授。現在「報道ステーション」など多数メディアに出演。震災後、桑折町放射線健康リスク管理アドバイザー、健康づくりアドバイザーを務める

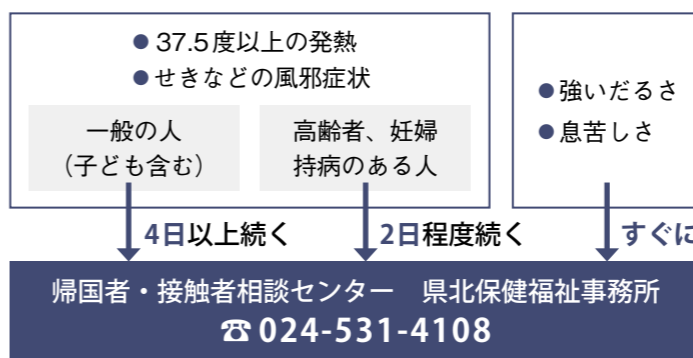


町は、国の方針に基づき、県保健福祉事務所や関係機関と緊密に連携して、引き続き適切な対応を進めていきます。

事態の進行や新たな科学的知見に基づき、その都度方針を更新し、回覧文書や町ホームページなどで、最新の対策をお知らせしていきます。

健康福祉課 健康増進係  
☎ 582-1133

### 相談・受診の目安



## 町で対策本部を設置 町内での感染防止を徹底する

新型コロナウイルス感染症の国内での感染が増加し、町内でも不安が急速に広まっていることから、「桑折町新型コロナウイルス対策本部」を2月25日に設置しました。

町は、より一層適切な情報提供に努めていきます。町民の皆さまには、風邪や季節性インフルエンザへの感染予防対策として行ってきた咳エチケットや手洗いなどの徹底に努めていただきますようお願いいたします。

また、町内での患



桑折町長 高橋宣博

者発生を防止するため、当面の間、町などが主催する不特定多数が集まるイベントについては、中止または延期とする場合があります。

各イベントを楽しみにお待ちいただいていた皆さまには、大変申し訳ございませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

### 「Q」 and 「A」

Q、新型コロナウイルスには、どうやって感染しますか？

A、現時点では、**飛沫感染と接触感染**の2つが考えられています。**【飛沫感染】**感染者のくしゃみ・咳・つばなどと一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。**【接触感染】**感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の人がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

Q、新型コロナウイルスに感染すると、どんな症状が出ますか？

A、**発熱やのどの痛み、咳が長引き（1週間前後）、強いだるさ**を訴える人が多いことが特徴です。感染から発症までの**潜伏期間は、1日から12.5日（多くは5日、6日）**といわれています。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特に高齢者や持病のある人は重症化

しやすい可能性が考えられます。

Q、風邪のような症状があり、心配です。どうしたらいいですか？

A、発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。また、毎体温を測定し、記録しましょう。

Q、感染症かも？と思ったら、どうしたらいいですか？

A、【**風邪のような症状や37.5度以上の熱が4日以上続くとき**】または【**強いだるさや息苦しさがあるとき**】は、最寄りの保健所などにある「**帰国者・接触者相談センター**」に電話で相談しましょう。桑折町の場合は、県北保健福祉事務所（☎531-4108）が窓口になります。症状がこの基準に満たない場合は、かかりつけ医や近隣の医療機関に相談してください。

Q、「帰国者・接触者相談コーナー」に相談すると、どうなりますか？

A、電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染

症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。複数の医療機関を受診せず、上記で紹介された医療機関を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いを徹底しましょう。

Q、感染予防のためにできることは何ですか？

A、以下のことを心掛けましょう。  
①石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い ②正しいマスクの着用を含む咳エチケット ③高齢者や持病のある人は公共交通機関や人混みを避ける

（出典：厚生労働省「新型コロナウイルスQ&A」2月22日時点版）

**Information**

- 3月2日「ゲーデ・ピアノ三重奏コンサート」▶ 中止
- 3月6日「全国山城サミットプレ大会総決起集会」▶ 延期（時期未定）



# とろける味わい、桃ゼリー

6次化商品「至福の桃シリーズ」、待望の第3弾——。  
甘さ、香り、食感の三拍子がそろった、つるつるとのど越し  
爽やかな「至福の桃 飲むこんにやくゼリー」ができました。



## 至福の桃シリーズ 待望の第3弾

町産桃「あかつき」を使った6次化商品「至福の桃シリーズ」の第3弾、「至福の桃 飲むこんにやくゼリー」が完成しました。

同商品は、26年連続して天皇家宮家へも献上している桃「あかつき」の果汁を使い、町内の山吉青果食品株が製造。桃の香りとぶるぶるとした食感が特徴で、食物繊維やコラーゲンペプチド、ヒアルロン酸も含まれています。パッケージは、これまでの「至福の桃シリーズ」のソルベ・グミの包装や、町のロゴマークも手掛けた、東北芸術工科大学の中山ダイスケ学長がデザインしました。

完成を記念して、商品発表会が2月19日、役場で開かれました。高橋町長は「町の素晴らしい資源である桃を、一年中味わってほしいという思いで開発。地元企業の卓越した技術のおかげで、素晴らしい商品が完成した。大きな反響があると期待したい」と話しました。

同席した、山吉青果食品株の佐藤定好代表取締役社長は「何度も試作を重ね、納得の商品が出来た。町産



1 (左から) 佐藤代表取締役社長、高橋町長、渡邊理事長  
2 ゼリーをほおぼる彩芽ちゃん。ぶるんとした食感が子どもたちにも大好評 3 町自慢の桃「あかつき」を使用し、香り高い味わいに



桃「あかつき」ならではの芳しい香りが特徴。ふわっとした甘い香りに、ふるさと桑折を感じてほしい」とと太鼓判。町振興公社の渡邊美昭理事長は「持ち歩きができるため、ぜひお出かけ時にも食べてほしい」と呼びかけました。

## 口コミやSNSで 早くも話題の商品に

発売日に先駆けて、こおり健康講演会(2月16日)で、いち早く町の皆さんに同ゼリーをプレゼント。桃農家を営む八巻茜さんは「以前発売されたグミも大好きで、娘とよく食べている。桃農家としても、町のおいしい桃が一年中食べられる商品ができてうれしい」と話し、長女の彩芽ちゃんも「おいしいっ」とゼリーのおるぶる食感が気に入った様子でした。

同ゼリーは、3月2日から、町振興公社(北町26)で発売開始。準備が整い次第、町内外店舗やインターネットでも販売します。自慢の逸品をぜひご賞味ください。

- 発売日 3月2日(日)
- 販売場所  
町振興公社  
(順次町内店舗やインターネットでも取り扱い開始)
- 価格 150円(税込)
- 問い合わせ  
振興公社 ☎581-2790



# 復

東京五輪  
聖火リレー

# 興

# の

# 光



「俺もじいちゃんも走ったんだから、心平も走ったらどうだ」。父公平さん（43歳）の言葉がきっかけになり、今回の東京五輪で、町代表の聖火ランナーに選ばれた高野心平くん（醸芳小6年・12歳）。祖父忠一さん（73歳）と公平さんが過去に日本で開催された五輪の聖火リレーで走っており、親子三代での参加になります。

前回の東京五輪当時、安達高校に通い、陸上部に所属していた忠一さん。学校代表としてランナーに選ばれ、安達駅付近を約2キロ駆け抜けました。公平さんは、長野五輪の時、兄進さん（46歳）の勧めで兄弟ランナーとして福島市瀬上町を走ることに。沿道からの声援が今も心に焼き付いているといいます。

## 親子三代でトーチをつなぐ 希望の道を照らす聖火ランナー

いよいよ迫り来る、2020年東京五輪。町代表の聖火ランナーを務める高野心平くんはこの晴れ舞台に懸ける特別な思いがあった。祖父忠一さんは前回東京五輪、伯父進さんは長野五輪でトーチを持って走り、父公平さんは進さんの併走を務めた。親子三代でつなぐ聖火が、地域に明るい光を灯す――。

心平くんは「まさか自分が選ばれるなんて、夢にも思わなかった」と驚きの表情。新聞に記事が載った日を皮切りに、学校の友達や近所の人から「がんばれ」と多くのエールが送られてきました。「少し恥ずかしいけれどもうれし。祖父、伯父、父とつながってきたバトンをしっかり受け止めたい」と気を引き締めます。忠一さんは「笑顔で走ればいい。心平なら大丈夫だ」

と背中を押します。東日本大震災当時、3歳だった心平くん。母と買い物に出かけている時に地震に遭いました。店内の棚が激しく揺れた光景が、幼いながら心に強く残っています。「復興五輪」と銘打った東京五輪。「堂々と走る姿を見て、大勢の人に復興を感じてもらいたい。そして、桑折町を知ってもらいたい」と凛々しく前を見つめます。

### Information

開催日 | 3月27日(金)  
コース | 信夫ヶ丘競技場 (12:50 出発) から福島県庁西庁舎前県民広場 (14:02 到着予定) まで。合計29人の代表ランナーが1人約200mの区間を走り、トーチをつなぎます。詳細ルートは県HPまで。

(左から) 高野忠一さん、心平くん、公平さん。忠一さんの自宅前（二本松市）で、家族の宝物である長野五輪のトーチとともに撮影



# 各種コンクール・大会受賞報告会

## 晴れやかな表情で

## 受賞者ら喜びを語る

日ごろの努力が評価され、さまざまな分野で  
名誉ある賞を授与された21人。  
喜びに満ちた合同受賞報告会が行われました。

各種コンクールや大会において、優秀な成績を取った児童生徒・教職員の功績を称える「合同受賞報告会」が2月17日、「イコーゼ」で開かれました。

はじめに、各受賞者が、受賞内容や努力した点を高橋町長に報告。ざぶん賞作文コンクールで、全国8、973点の応募の中から、見事最高賞となる大賞に選ばれた佐藤月華咲さんは「夏休みにひいおばあちゃんの家泊まりに行ったことを書いた。最高賞の結果を聞いて、真っ先にひいおばあちゃんに報告。誰よりも喜んでくれてうれしかった」と笑顔で話しました。

また、同コンクールで環境賞を受賞した阿部豊さんは「陣屋の杜公園で、ホテルを見つけたことを題材にした。受賞はもとより、作文を通して、全国の皆さんに桑折町のことを知ってもらえて良かった」と話しました。

受賞者に対し、高橋町長は「皆さんの言葉から、日々の学習への努力と達成感がひしひしと伝わり、うれしく頼もしく感じました。皆さんの受賞は、町にとっても、大変な誉れである。これからも、受賞を契機に、さらなる活躍を期待したい」と話し、受賞者一人一人と握手をしながら、喜びを分かち合いました。



1 受賞した喜びを高橋町長へ報告 2 町長が受賞者一人一人と握手を交わし、記念品を贈呈しました 3 日ごろの努力が報われ、名誉ある賞を授与された21人の子どもたちと教職員が勢ぞろい



### 私とひいおばあちゃん

ざぶん賞「大賞」



つかさ 佐藤月華咲さん  
醸芳中学校1年

#### 私

には、ひいおばあちゃんがあります。ひいおばあちゃんは九十歳です。私との歳の差はなんと七十七歳です。でも、九十歳とは思えないくらい若くて元気で、毎日、楽しみのゲートボールや畑仕事をしています。一緒に住んでいるため、時々泊りに行きます。今年もついに始まった夏休み。長い夏休みの一番の楽しみも、やはりひいおばあちゃんの家泊まりに行くことです。ひいおばあちゃんの家での夏の楽しみといえば、畑で夏野菜を収穫しその場で新鮮な野菜をガブリと丸ごと食べることです。そして泊りに行くこと、私とひいおばあちゃん

は必ず一緒にお風呂に入りま

す。ひいおばあちゃんの家は飯坂温泉にあるため、時々家のお風呂だけでなく飯坂温泉の共同浴場にも行ったりもしています。大きなお風呂には、あふれるほどのお湯がはいっていて、私とひいおばあちゃん

#### 受賞者の皆さん（順不同）

佐藤月華咲さん（醸芳中1年）  
ざぶん賞作文コンクール 大賞

阿部豊さん（醸芳中2年）  
ざぶん賞作文コンクール 環境賞

佐藤有希也くん（睦小2年）  
県児童作文コンクール 準特選

佐藤由依さん（半田醸小6年）  
県児童作文コンクール 準特選

荒川蒼志くん（醸小2年）  
県読書感想文コンクール 特選

及川京さん（醸中3年）  
県読書感想文コンクール 準特選

矢吹ななこさん（醸中3年）  
県中学生人権作文コンテスト 奨励賞

市川葵子さん（醸中2年）  
大切な命を守る作文コンクール 警察本部長賞

菅野泰瑠くん（醸小1年）  
県書きぞめ展 硬筆の部 書きぞめ奨励賞

緑上舞香さん（醸小3年）  
県書きぞめ展 毛筆の部 書きぞめ奨励賞

菅野茜さん（醸小6年）  
県書きぞめ展 毛筆の部 書きぞめ奨励賞

佐藤詩音さん（醸中1年）  
県書きぞめ展 毛筆の部 書きぞめ奨励賞

菅野巴麒くん（醸小6年）  
県算数ジュニアオリンピック 銅メダル

岡田知也くん（半田醸小4年）  
県小学校児童画展 入賞

佐藤歌音さん（睦小6年）  
県理科自由研究作品展 入賞

大山はなさん（醸中1年）  
地域安全標語コンクール 最優秀

桐澤颯香さん（醸中1年）  
地域安全標語コンクール 優秀

鈴木太一さん（醸中2年）  
地域安全標語コンクール 優秀

高橋ここあさん（醸中2年）  
中体連県大会水泳女子 東北大会出場

中島美和子さん（半田醸小教諭）  
県教育委員会表彰 優秀教職員

星雅人さん（醸中教諭）  
県教育委員会表彰 優秀教職員





1 誓いの言葉を述べる加藤さん 2 全生徒で「生命が羽ばたくとき」を合唱 3 杉浦さんが心温まるメッセージソングを披露

### 桑折町立志式 15歳の節目に自分を見つめる

町立志式・記念講演（町青少年育成町民会議主催）が2月7日、「イコーゼ！」で開かれ、醸芳中2年生が出席しました。立志式は、数え年での15歳の節目に自分を見つめ、社会の一員としての自覚や責任を持つきっかけになるよう実施しています。式典では、高橋町長が生徒代表の菅野和香奈さんに証書を手渡し

ました。続いて、加藤綺菜さんが「明るく拓かれたとき、厳しく険しいとき、どんな未来が待ちうけていようと、皆様から教えていただいたことを力に変えて乗り越えていきたいと思います」と力強く誓いの言葉を述べました。記念講演では、杉浦貴之さんが「マイナスをプラスに変えて、夢を叶えよう」とエールを送りました。

### 桑折町政策研究会報告会 自治体職員が企画出し合う

昨年5月から活動してきた自治体政策研究会（ふくしま自治研修センター主催）の研究報告会が2月3日、「イコーゼ！」で開かれました。桑折町を調査研究のフィールドに「シティプロモーションの推

進」という課題について、県内の自治体職員11人が活動。桑折町ならではの魅力を生かした政策を、約半年間かけて模索してきました。研修生は高橋町長と河井孝仁東海大学教授らの前で発表し、提言書を手渡しました。



◀外の視点からも町を見直し、課題と今後の方針を再認識



▶福島圏域11市町村の各市町村長らがさらなる連携の強化を誓う

### 福島圏域広域連携セミナー 近隣自治体の連携を考える

人口減少時代の広域連携について福島圏域11市町村で議論するセミナーが1月30日、福島市で開かれました。第1部では、明治大学政治経済学部の牛山久二彦教授が講演を行い、自治体の連携推進の必要性を解説。第2部では、パネルディス

カッションが行われ、各首長から、圏域共通課題である医療の充実、地域公共交通などについて連携が必要であると意見が出されました。最後に、福島市長が「公共施設の相互利用ができる体制、環境整備を検討したい」と提言しました。

### 幼稚園・小中学生に制服贈呈 ピカピカの制服に笑顔

町は、令和2年度新入園児および新入学児童生徒へ入園・入学のお祝いとして、町内の幼稚園と小中学校の各制服を贈呈しました。これは、子どもたちに新たな気持ちで幼稚園や学校の生活を送ってほしいとの思いから、今年で4度目の実

施となります。また、子育て世代の入学時における経済的負担の軽減を図ることも目的としています。2月21日、醸芳幼稚園で贈呈式が行われ、園児らは「小学校に行ったら勉強を頑張ります」と笑顔で制服を受け取りました。



◀町長より4月から新1年生になる園児たちに制服を贈りました

### 男女共同参画推進講演会 まさかの時の防災術を学ぶ

男女共同参画推進のための講演会が2月2日、中央公民館女性講座との共催で行われました。今年度は防災分野での男女共同参画について、（社）あぶくまエヌエネット代表理事の進士徹さんを講師に迎え、「防災に備えるまさかの時の生き残り術」と題して講演いただきました。有事の際は男性のみ

で組織運営を行うのではなく、女性ならではの視点が重要であることなどを学びました。また、身近にある新聞紙や空き缶、ブルーシートなどが災害時に非常に役立つ便利グッズとなることや、正しいマスクの使い方などを実演。参加者からは「役立つ情報はかりで、万一の際にぜひ活用したい」などの声が寄せられました。



1 新聞紙を断熱材として使う方法を紹介する進士さん 2 災害で役立つグッズを展示 3 ブルーシートで簡易ベッドを作成

### 醸芳幼稚園発表会 かわいらしい演技を披露



▶手作りの衣装に身を包み、劇「はらぺこあおむし」を披露

醸芳幼稚園の年長組が1月29日、年少・年中組が2月21日、劇やダンス、歌などの発表会を行い、保護者らに披露しました。劇では、楽器演奏やダンスを交えながら、堂々と大きな声で発表。運動では、これ

までの練習の成果を存分に発揮し、保護者や地域の皆さんにかっこいい姿を見せていました。観客の多さに少し緊張しながらも、みんなで力を合わせて頑張る姿に、会場からは拍手が送られました。



## 長 「交通栄誉章緑十字金章」受章報告 きにわたり、交通安全活動に尽力

桑折地区交通安全協会長の亀岡彦久さんが1月22日、交通安全全国国民運動中央大会（東京都）で交通栄誉章緑十字金章を受章。その報告のため2月4日、役場を訪れました。

亀岡さんは、昭和57年から約37年間、地域の皆さんへ交通安全の意義を理解してもらうため、多くの活動に尽力されました。「自分一人の賞ではなく、桑折町と国見町の皆さんの応援のおかげ。来年度、後継者にバトンを繋ごうとしていた直前、最後の最後に素晴らしい賞をいただき、大変うれしく思う」と受章の喜びを語りました。



▲笑顔を見せる亀岡さん（写真左）と、長年の交通安全推進活動の功績をたたえる高橋町長



▲震災後からそば文化復活のために尽力された「半田銀山そばの会」の皆さん

## 町 「豊かなむらづくり顕彰事業」受賞報告 内初の「むらづくり部門」受賞

半田銀山そばの会協議会が1月30日、令和元年度豊かなむらづくり顕彰事業表彰式（杉妻会館、福島市）で「むらづくり部門」の県内優秀団体に選出。その報告のため2月3日、役場を訪れました。

当会は、震災後の平成24年から、県オリジナル品種の「会津のかおり」を遊休農地で栽培し、「銀そば」ブランドを販売。そば打ちなどの体験イベントなどを通して、地域の皆さんにそばに親しむ文化を提供し、そばの普及に努めています。氏家浩会長は「『銀そば』で桑折町の農地を守り、そば文化を咲かせたい」と今後の活動へ期待を込めました。

## ア 福島県国際農友会海外派遣研修事業 激励金贈呈式 アメリカの栽培技術を学ぶ

町内で農業を営み、福島県国際農友会海外派遣研修に参加した平井康夫さんに2月3日、町から激励金が贈られました。

本事業は、2月10日から16日までの約一週間、主にロサンゼルスで、現地の農家や市場を視察し、アメリカの栽培技術や販売の仕方などを学習・体験できるプログラムです。

贈呈式にて、平井さんは「父の後継ぎとして、約1年前に関東から桑折町にUターンし、やっと仕事の流れが分かってきたところ。この事業を通して、さらに農業経営の理解を深めたい」と抱負を語りました。



▲「農業従事者のリーダーとしての活躍を願う」と平井さん（写真左）を激励する高橋町長



▲真心こもった手作りガーゼを受け取り、「大切に使います」と話す松原志津佳さん

## よ 創生婦人会より手作りガーゼの寄附 うこそ赤ちゃん！子育てママを応援

創生婦人会の「出会い・子育て委員会」が1月31日、地域の宝である赤ちゃんのためにと、町に対して約100枚の手作りガーゼを寄附しました。会員一人一人が心をこめて作るガーゼは、さまざまな柄があり、縁に色鮮やかなレースが施されています。

このガーゼは、「やすらぎ園」へ母子手帳を受け取りに来た保護者の皆さんに配られ、「手作りのあたたかみを感じられてうれしい」「子育ての必需品なので助かる」と大好評。川名静子会長は「会員が心を込めて作った。少しでもお母さん方の役に立てたらうれしい」と話しました。

## 献上桃の郷 BBQ フェス 2020



### 今年も開催！ 桃畑でBBQしよう

問 実行委員会事務局 ☎582-2126

桃の花を眺める BBQ フェス！地元うまいもの屋台やお楽しみ豪華抽選会もあります。

日時 ▶ 4月19日(日) 11:00～14:00

場所 ▶ 桃の郷ポケットパーク周辺（伊達崎大畑向）

定員 ▶ 1,000人

チケット ▶ 1人税込2,000円（チケット1枚につき肉300g+野菜+金剛水と引き換え）

※福島牛串、海鮮、飲み物など売店で別途販売

チケット販売期間 ▶ 3月2日(日)～4月10日(日)

チケット購入場所 ▶

町役場、町商工会、JAふくしま未来桑折営農センター、伊達果実農業協同組合、レガールこおり、うぶかの郷、町振興公社、ふくしまFM ホームページ内チケット購入サイト

臨時駐車場 ▶ 「イコーゼ！」

シャトルバス発着所 ▶ 桑折駅、「イコーゼ！」

主催 ▶ 献上桃の郷 BBQ フェス 2020 実行委員会

※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止する場合があります。

## 町観光キャンペーンクルー募集



### 全国各地でPR スマイルピーチ募集

問 産業振興課 商工観光推進室 ☎582-2126

全国各地で開催されるイベントなどで、桑折町の魅力をPRしていただける人を募集します。

募集人員 ▶ 5人程度

応募資格 ▶ ①年齢18歳以上で健康な人（高校生を除く）②県内に居住、または在勤・在学の人で、桑折町役場などに通勤可能な人 ③PR事業に年間10日程度参加できる人 ④5月31日(日)実施の研修を受講できる人 ※他の予定よりも優先的に活動いただくことが条件です。

活動内容 ▶ 県内・仙台・首都圏などでのPR事業

応募方法 ▶ 下記まで問い合わせください。

応募締切 ▶ 5月11日(日)

選考会 ▶ 5月16日(日)

応募先 ▶ 一般財団法人桑折町振興公社

〒969-1601 桑折町字北町26

☎581-2790 FAX582-2388

✉mail@kooori-shinkokosya.com



## 全国山城サミット桑折大会プレ大会



### 全国山城サミット 準備進める

問 生涯学習課 歴史文化係 ☎582-3129



「全国山城サミット連絡協議会」は、日本各地にある山城を有する自治体や団体で構成され、毎年、各地の山城で大会が開かれています。

桑折西山城跡を有する本町では、令和3年度に大会を誘致するため、今年10月10日、11日にプレ大会を行います。当日は、白石市から、甲冑60着を提供いただくことになりました。

大会の成功には、皆さんの協力が不可欠です。声を掛けあい、盛り上げていきましょう。

※3月6日(日)に予定していた総決起集会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期（時期未定）とします。

伊達氏ゆかりの城「西山城跡」において、全国山城サミット桑折大会プレ大会が開催されますこと、誠にありがとうございます。

桑折町とは、これまで福島圏域連携推進協議会のメンバーとして、広域観光も含め連携の強化を図っています。

白石市では、毎年10月の第1土曜日に白石城を会場として、伊達の重臣片倉小十郎重長が活躍した大坂夏の陣（道明寺の戦い）を再現した「鬼小十郎まつり」を開催しています。

今後とも、伊達氏をはじめとした地域の歴史遺産を生かしたまちづくりを共に進めていきましょう。

## 応援メッセージ

白石市  
山田 裕一市長より





3/4 WED	広報3月号、お知らせ版 桑折町歴史案内育成講座	★
5 THU		♡
6 FRI	制服贈呈式(伊達崎小) 新中学1年生へ贈呈 すくすくカフェ	◆
7 SAT	タニタウォーキングチャレンジ測定会 (やすらぎ園)	
8 SUN	◎こばやし子ども・内科クリニック ☎577-0663	
9 MON		♡
10 TUE	3歳6ヵ月児健診 (H28年7・8・9月生) (受付: 個別通知)、健康相談日	
11 WED		★
12 THU	ホールボディカウンタ測定日 すくすくキッチン	
13 FRI	中学校卒業式	◆
14 SAT	桑折学習塾(中1、2閉講式)	
15 SUN	◎さとう整形外科内科クリニック ☎572-7606	
16 MON		♡
17 TUE	1歳6ヵ月児健診 (H30年7・8月生) (受付: 13:00~13:30)	
18 WED	醸芳幼稚園修了証書授与式 お知らせ版	★
19 THU		★
20 FRI	◎せきね医院 ☎572-2333	春分の日
21 SAT		
22 SUN	◎さとうファミリークリニック ☎574-2811	
23 MON	小学校卒業式	♡
24 TUE	ホールボディカウンタ測定日	
25 WED	保育所修了式	★
26 THU		♡
27 FRI		★◆
28 SAT		
29 SUN	◎すずき医院 ☎575-2563	
30 MON		
31 TUE	教職員離任式	

●公民館 ●やすらぎ園 ◎休日当番医  
◆母子手帳交付・すくすくの日  
【交流スペース開放】:「イコーゼ!」10:00~11:30  
♡ベビールーム (1ヵ月~1歳5ヵ月頃のお子さんと保護者)  
★キッズひろば (1歳6ヵ月頃~就園前のお子さんと保護者)

みんなで  
気を付けよう!

## すぐにできる対策 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症が、中国だけでなく日本でも確認されています。通常の感染症対策が重要です。手洗いや咳エチケットを徹底し、ウイルスの感染を防ぎましょう(4、5ページもご覧ください)。

### 対策

- ★手洗い: 外出先からの帰宅時は手洗い・うがいをし、調理・食事前などこまめに手を洗います。
- ★適度な湿度と喚起: 空気が乾燥すると、のどの防御機能が低下します。加湿器などで、適切な湿度(約50%)を保ち、こまめに水分をとり、のどを潤しましょう。室内喚起も重要です。
- ★咳エチケット: 咳が出る時は、マスクを着用し、無い場合はティッシュで口と鼻をおおいます。

### Recipe

#### 今月の健康レシピ

## 鮭ときのこの米粉シチュー



塩分  
0.8g

- 材料(4人分)
- 鮭 ..... 2切れ
  - 米粉 ..... 少々
  - にんにく ..... 少々
  - オリーブ油 ..... 大さじ1、1/2
  - しめじ ..... 1パック
  - 玉ねぎ ..... 1個
  - にんじん ..... 1/2本
  - 昆布だし汁 ..... 600cc
  - 米粉 ..... 大さじ4、1/2
  - 牛乳 ..... 450cc
  - 塩 ..... 少々
  - ブロッコリー ..... 1/2房

#### ■作り方

- 1 しめじは石づきをとって細かくほぐし、玉ねぎは薄切り、にんじんはちょう切りにし、昆布だし汁で煮る。
- 2 鮭はそぎ切りにして米粉をまぶす。にんにくのみじん切りとオリーブ油を熱したフライパンに鮭を並べ、ふたをして焼く。
- 3 ①の鍋に米粉を混ぜた牛乳を加え、とろみがつくまで混ぜながら煮る。塩・(こしょう、バター好みで) 加え、②の鮭を合わせる。ゆでたブロッコリーを飾る。



【1食分の栄養価】 エネルギー 258kcal  
たんぱく質 16.1g / 脂質 11.0g / 鉄 0.8mg  
カルシウム 162mg / 塩分 0.8g

とろみは米粉を使っています。  
体にやさしく、おいしいシチューです。  
~加藤玲花さん、愛都ちゃん~

### NEWS

## 「ほめ上手」で子育てしよう

### 子育てアドバイス

#### ほめるって どういうこと?

ほめるとは、「それは良いことだよ」というポジティブサインです。そして、もともと備わっている「子どもの育つ力」を励まし、発達に合ったサポートをしながら良い方向へ導くための表現方法です。

#### 何をほめたら いいのだろう?

「うちの子、何もほめるところがないんですけど...」という話をよく耳にします。しかし、それは「で

#### 子育てを 頑張りすぎないで

「子育てを一人で頑張ろう!」と思っていまいませんか? 気持ちとはとても分かりませんが、イライラしたり、思うようにいかずに泣きだくなったりします。そうな

きて当たり前」と大人が思ってしまうからです。良い結果や大きな変化が見られたときだけでなく、大人の目から見ても「当たり前」と思えることも、積極的にほめてあげてください。

例えば、朝、子どもが目覚める時に「早く起きなさい!」と言うのではなく、起きた時に「一人で起きたね」と伝えます。また、食事中に「早く食べなさい!」と言うのではなく、食べた時に「一人で食べられたね」と声を掛けます。このように、良い行動や増やしたい行動を、そのまま言葉にすればいいのです。

る前に、家族(夫婦・祖父母・兄弟・叔父叔母)や地域を頼るようになりましょう! 外に目を向けられれば、ママ友や保健師・助産師・保育士などから悩みを理解してもらえたり、アドバイスをもらえたりします。

子どもは日々成長しています。まずは、母親がイライラせず、やさしくゆったりとした気持ちで、子どもを観察してみてください。きっとほめるところがたくさん見つかるはずです。大人だって、ほめられればうれしいですよ。子どもだっただけのおさらいです。言葉や態度で、たくさんほめてあげましょう。

相談窓口・問い合わせ  
子育て世代包括支援センター「すくすく」  
お気軽にどうぞ  
☎582-6045

いますぐ  
実践できる!

## 4つのテクニック de ほめ上手

### 1 今までの様子を見てほめる

日ごろから子どもがしていることに、目を向けてみましょう。以前より少しでもできるようになったことや、自分で考えて行動していることがたくさんあるはず。それをほめてあげましょう。

### 2 「良い」と思ったら、その場でほめる

「良いな」と思ったらほめ時です。結果だけでなく、頑張りやプロセスもほめるようにしましょう。さらに、頭をなでたり、抱きしめたりするのも、もっと効果的です。

### 3 ほかの子と比べない

「あの子はできるのに、うちの子はできない...」とほかの子と比べるのではなく、自分の子が過去から比べてできるようになったことをほめましょう。成長を認めてもらおうと、今後の励みにもなります。

### 4 ほめっぱなしにしない

子どもはきっと「またほめられたい」と思っています。1度ほめたから良いのではなく、昨日できていたことでも、今日またできていたら、繰り返し何回でもほめてあげましょう。



## 図書だより

遊学館「よも〜よ」 ☎ 582-5388

今月のおすすめ /

### さよならの季節



一般書

#### ■ツナグ 想い人の心得 辻村深月：著（新潮社）

一生に一度だけ死者との再会を叶える使者「ツナグ」。長年に亘って務めを果たした最愛の祖母から、歩美は使者としての役目を引き継いだ。誰にも言えぬ想いを胸に秘めている依頼者たちは、本当の意味での死者との別れを果たすことはできるのだろうか。映画化もされた前作『ツナグ』から7年後を描く、待望の続編。



児童書

#### ■100年たったら 石井睦美：文 あべ弘士：絵（アリス館）

ずっと昔、草原にライオンがひとりっきりで住んでいました。ある日、飛べなくなった一羽の鳥が草原におりたち、一緒に過ごすようになりますが、やがて訪れるライオンと鳥のしづかな別れには続きが…。はらかな時とめぐる命をたどる、せつなく壮大な物語。

## 掲示板

生涯学習課 ☎ 582-3129

### ■東京2020オリンピック 聖火リレー

福島県実行委員会が昨年夏に公募した「東京オリンピック聖火リレー」のランナーに、桑折町代表として、高野心平さん（釀芳小学校6年）が選ばれました。

ぜひ町の皆さんのあたたかい声援をよろしくをお願いします。

★高野さんについては、特集（6、7ページ）をご覧ください。

日時 3月27日(土) 12:50～14:02

場所 福島市内

### ■春期水泳教室始まります！

参加者募集については、本日発行のお知らせ版3月4日号でお知らせします。

【成人向け】

- ・アクアエクササイズ&水中ウォーキング
- ・大人水泳教室

【小学生向け】

- ・子ども水泳教室（初級・中級・上級コースがあります）

【幼稚園児（年長）向け】

- ・水慣れ教室

INVITING COMMUNITY  
ZONE FOR EVERYONE

## 生涯学習だより

### 盤上で熱戦繰り広げる 第58回如月杯囲碁将棋大会

第58回如月杯囲碁将棋大会が2月9日、「イコーゼ！」で、一般27人、小・中学生8人が囲碁と将棋の各部門に分かれ、盤上で熱戦を繰り広げました。今年は、最年長が88歳、最年少が小学2年生と幅広い年齢層で、世代間交流の場にもなりました。以下、結果を紹介します。

▶囲碁【一般の部Aクラス】優勝：佐藤善利、準優勝：菅野博輝、第3位：幕田義男【一般の部Bクラス】優勝：佐藤英司、準優勝：齋藤幸夫、第3位：佐藤利夫【小学生の部】優勝：稲村百合那、準優勝：稲村茜、第3位：稲村臣亮

▶将棋【一般の部Aクラス】優勝：佐藤隆雄、準優勝：佐藤一男、第3位：松原富雄【一般の部Bクラス】優勝：多勢勇、準優勝：佐藤恒夫、第3位：大槻敏光【小・中学生の部】優勝：佐藤樹、準優勝：大谷直人、第3位：相原光太郎（敬称略）



### イースターエッグを作ろう 美術館deワークショップ

もっと気軽に美術館へ足を運んでほしいという思いから、種徳美術館では、会期に合わせてワークショップを開催しています。第7回目となる今回は、3月17日(日)から3月22日(金)に「イースターエッグをつくろう」を行います。本場ではゆで卵に装飾をしますが、今回はたまごの形の発泡スチロールに、絵の具で好きな色や模様をつけます。2階展望席で、ゆったりとお過ごしください。  
参加費▶300円(美術館観覧料含む)  
定員▶各日6人  
申し込み▶種徳美術館 ☎ 582-5507



### 花の魅力にうっとり こおり友遊くらぶ学習会

「こおり友遊くらぶ」今年度最後の学習会が2月13日、「イコーゼ！」で行われました。  
福島市でクラフト教室を開催する田本智子さんの指導で、ハーバリウム作りを楽しみました。ハーバリウム(植物標本)は、みずみずしい状態で花を保存・鑑賞できる人気のインテリアです。ボトルの中に、自分で選んだプリザーブドフラワーなどの花材を配置して、専用のオイルを注げば完成。透明なオイルの中でゆらめく色鮮やかな花の魅力に、受講生は目を輝かせていました。



### ネットで繋がる体験 成人講座「タブレット教室」

成人講座の「タブレット教室」が2月7日から全4回、桑折公民館と半田公民館で行われました。  
福島シニアネットの阿部幸雄さんを講師に招き、前半の初心者コースでは、タッチ操作の練習や地図アプリでの目的地検索などに挑戦。後半の初中級コースでは、情報発信やスカイプを通じて人や地域と“つながる”体験などを楽しく学びました。  
参加者は「タブレットを使って世界が広がった」「今後ぜひ活用したい」と話し、これからの生活を豊かにするきっかけ作りとなりました。

### スノートレッキング 第1弾 ～半田山～

今年第1弾のスノートレッキングが1月26日、半田山で行われ、10人が参加しました。今回は、管理センターから出発し、新ルート開拓として、萱尻牧野側から山頂を目指しました。暖冬の影響で、雪遊びができなかったのは少し残念でしたが、この時期に雪のない半田山を歩けたことは貴重な経験となりました。



### みんなでスポーツしよう！ (レクリエーション)

いつでもだれでも参加OK！友達や家族と一緒に楽しく体を動かしましょう！

◆開催日・場所

【火曜日】19:00～21:00 釀芳中体育館

【木曜日】19:00～20:30 伊達崎小体育館

【金曜日】19:00～20:30 半田釀芳小体育館

◆参加料 会員 無料、未会員 200円



マルベリーこおり



マルベリーこおり事務局  
☎ 582-3129



## 地元だより Jimoto tsushin.

町シルバー人材センターより

### みんなで力を合わせて、餅つき体験



児童館の入り口で、餅つき体験をする子どもたち  
みんなで力を合わせて、おいしいお餅を作りました

町シルバー人材センターは、毎年児童館で行う「餅つき体験」が恒例行事となっています。今年も2月14日、子どもたちと楽しく実施しました。

参加した子どもたちは、みんなで楽しく、力を込めて餅つきを体験しました。今年は、餅米をふかす蒸しカゴときねを新調。餅米がふけると、木の良い香りがふわっと空気中に漂い、子どもたちはにっこり笑顔。あんこ・きなこ・ひきなの3種類の餅が完成し、子どもたちは「自分でついた餅はおいしい」と、出来立ての柔らかい餅に大満足の様子でした。

児童館の子どもたちとシルバー人材センター会員の交流にもなり、楽しいひと時を過ごしました。

だて西ロータリークラブより

### 町の皆さんのおかげで、伊達郡初の「ロータリー賞」受賞

だて西ロータリークラブは、昨年度末、国際ロータリーのロータリー賞（会長賞ゴールド、2018-19年度）を受賞し、その報告のため、1月21日に役場を訪れました。

阿部真樹会長は「伊達郡初の受賞となり、大変うれしく思います。醸芳中学校とのジョイント活動『フラワーロードギャラリー』や『児童館訪問』、仮設・復興住宅活動などが評価されたものと感じています。桑折町の皆さんのご厚情に深く感謝します」と喜びを語りました。



(左から) 佐藤昇監事、阿部会長、高橋町長



1\_醸芳中学生とともに、「フラワーロードギャラリー」（桑折駅前団地設置）を制作 2\_国際ロータリー一斉清掃デーに、美化活動に務める町児童館の子どもたちを表彰



KUBOTA  
AINA

趣味は、読書。最近のお気に入り「君の膵臓をたべたい」です。原作も映画も大好きで、何度も見えています。

## わたしの夢 Dreams come true.

### 保育の現場で働きたい 久保田 愛菜さん（醸芳中3年生）

わたしの夢は、子どもたちに慕われる保育士になることです。小さいころから近所の年下の子と遊ぶことが好きで、今でも休日には、8歳年の離れた従妹と「うちごっこ」をして楽しく過ごしています。

一昨年の夏休みは、学校で募集があった「サマーボランティア」に挑戦。醸芳保育所で、小さい子への接し方を学びました。現場の先生から、同じ目線で話すことや、周りに目配り・気配りすることなどの大切さを教えてもらい、貴重な経験となりました。

ひざに乗ってきたり、抱きついてきたりする子を見ていると「子どもはかわいいな」といやされます。笑顔で接しながらも、ちゃんと注意もできる保育士になって、子どもの成長の力になりたいです。

## こおりスマイル You have a good smile.



佐藤  
いつき  
樹くん

ニコニコ笑顔のいつきが大好きです！ ママより♡



長澤  
かほ  
佳穂ちゃん

たくさん笑って、大きくなってね！ ママより♡



藤倉  
はる  
遥陽くん

元気いっぱい遊んでね！ ママより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！  
①最近撮影した写真 ②氏名（ふりがな）・性別 ③メッセージ（20字程度）を記入して応募してください。  
【応募先】 総合政策課 ☐seisaku@town.koori.fukushima.jp 右QRコードから簡単にメール送信できます。



## 広報紙・ホームページ広告募集

### 自社の宣伝に！

広報紙は町内全世帯と事業所に月1回配られ、皆さんの目に触れられる広報媒体です。

### 費用が安い！

1か月5,000円～（HP掲載の場合）と、安い費用で、掲載できます。

■ 広報紙 1枚 / 6,000円～

■ HP 1か月 / 5,000円

※連続掲載の場合はさらにお安くします。



掲載したい月の【前月上旬】までに、総合政策課 広報広聴係（☎582-2115）に申し込んでください。

広告





SATO  
TAKEAKI

休日は、ウクレレを演奏する妻とセッションをしたり、お気に入りのレコードを聴いたりして、のんびりと過ごしています

# こおり暮らし

## 第2の人生は、サククス・プレイヤー

### 異国情緒あふれる音色を醸し出す

佐藤 武明さん（睦合）

毎月第3木曜日の昼下がりに、「うぶかの郷」でジャズを奏でる佐藤武明さん。町内外の音楽仲間と構成されるジャズバンド「スイングモード」に所属し、サククスをメインに、ウクレレ、ピアノなど、さまざまな楽器でバンドに華を添えます。

楽器との出会いは、中学一年生のとき。友人に誘われて、吹奏楽部でサククスを担当することに。周りとの息を合わせる「音のコミュニケーション」に魅了され、社会人になつてからも、趣味で演奏を続けています。東京のジャズバーでセッションをしたり、海外勤務の時には現地の人と共演したり、さまざまな場で音楽を楽しんできました。定年退職して桑折町に戻ってきた今は、地元の人や老人ホームや道の駅の催しなどに引っぱりだこ。「呼ばれば、どこへでも行きます」と笑顔で話します。多くの人と演奏を重ね、常に音楽がそばにある人生。そんな佐藤さんが奏でる音色は、深みがあって表情豊か。「リラックスして楽しんでほしい」と相棒のサククスを握りしめます。

#### 【今月の表紙】

お雛様を見習って、にっこり笑顔を練習中の遠藤椎南ちゃん。母京子さんも「笑顔が似合う、やさしい子に育ててほしい」と成長を見守ります。撮影場所は、今月8日まで「こおり古民家ひなまつり」を開催中の本町齋藤様宅（旧扇屋資料店）。町の皆さんが持ち寄った、色鮮やかなひな飾りがお出迎えます。お茶振る舞いやワークショップなど、心温まるひと時をお過ごしください。（愛莉）

#### ◆人口（前月比）2月1日付

人口 <small>※住民基本台帳 外国人含む</small>	計	11,733人	(±0)
	男	5,611人	(+1)
	女	6,122人	(-1)
世帯数	4,606世帯	(+7)	
転入	32人	出生	5人
転出	17人	死亡	20人

#### ◆町税の納付は口座振替を！

町税の納付は、納め忘れの心配がいない「口座振替」が便利です。役場税務住民課窓口でも申し込みができます。

問 税務住民課 収納係  
☎ 582-2114

#### ◆住民票/戸籍/印鑑・税証明窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで）

※当日午後5時までに税務住民課(☎582-2114)へ予約。祝日除く。